

令和6年度 養護教諭基本研修

事例検討の進め方

大西 良

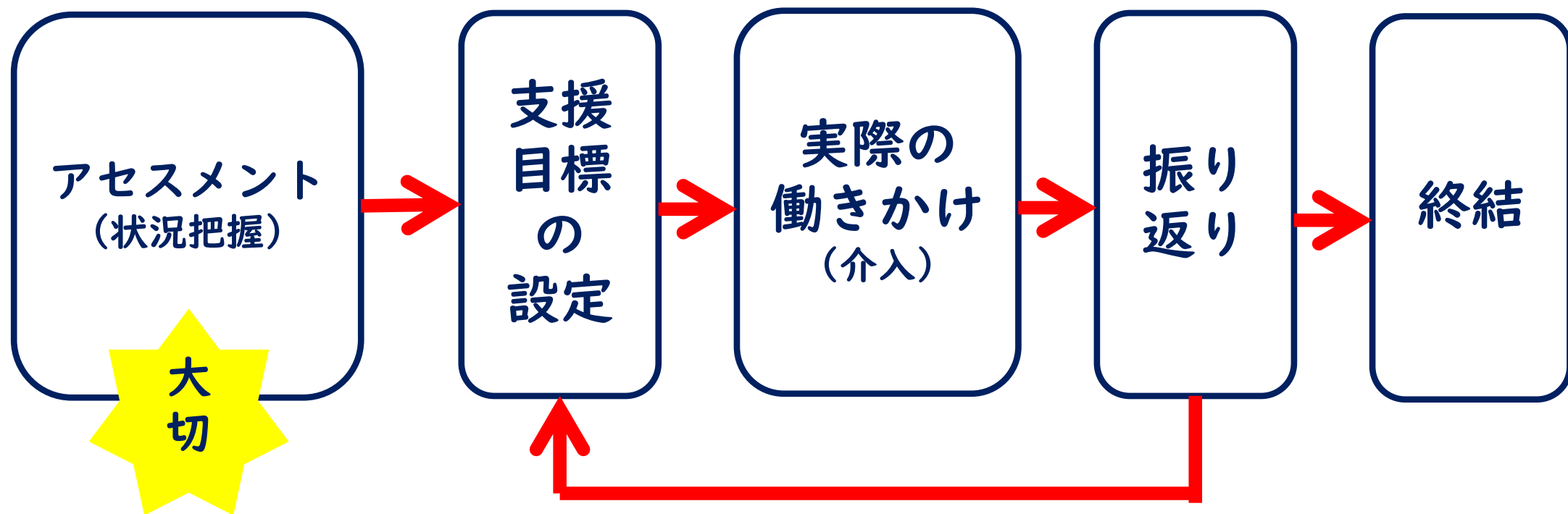
アウトライン

1. 事例検討の目的
2. 支援の展開過程
(ミクローマクロの視点)
3. マッピング技法とは

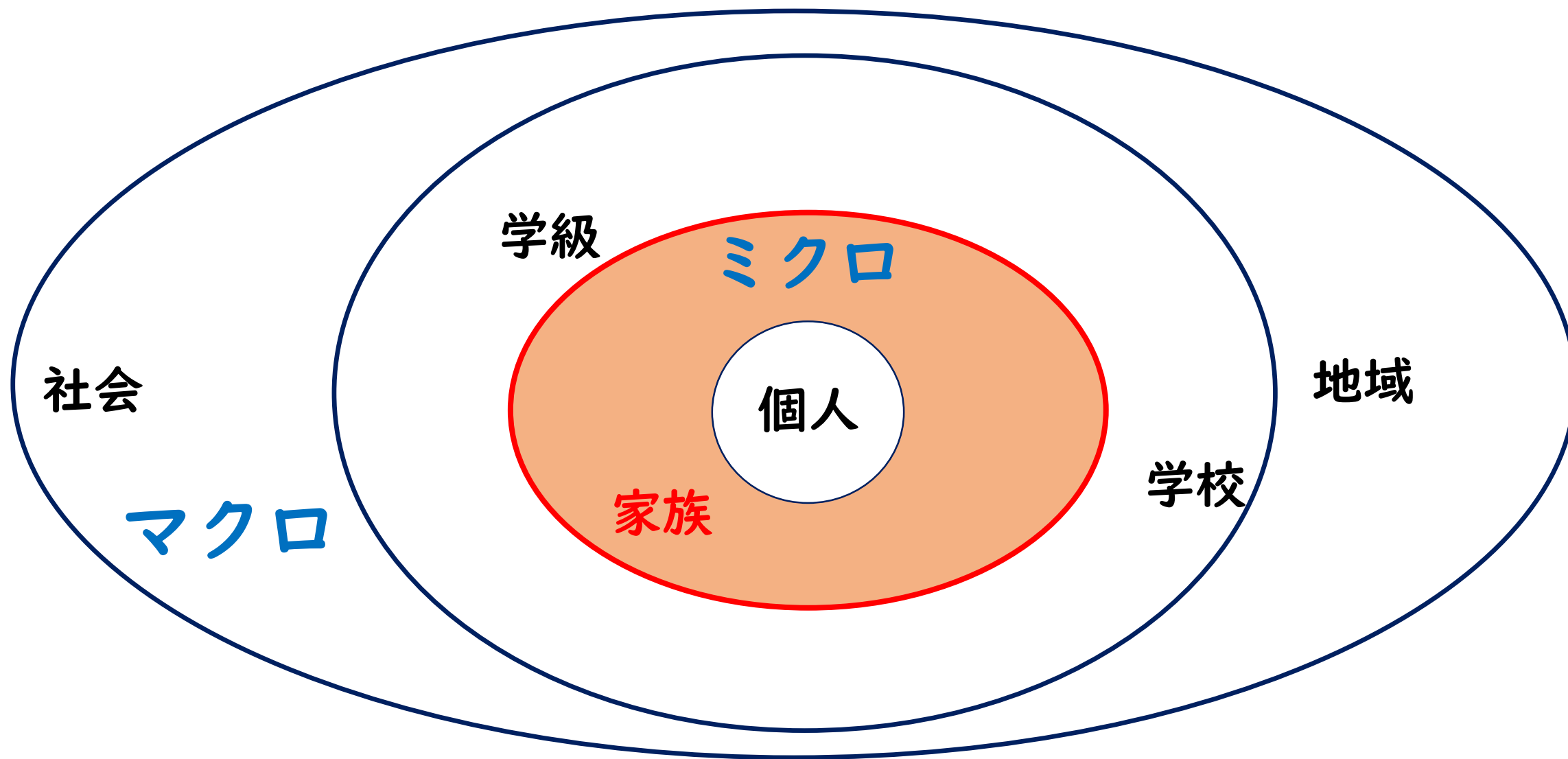
Ⅰ．事例検討の目的

- ・ 課題を抱える子ども（家庭）の背景を探る
- ・ 課題の本質を見極める
- ・ 具体的な支援方法を検討する

2. 支援の展開過程①



2. 支援の展開過程②



3. マッピング技法①

援助を展開する中で、対象者の周辺を図式化する技法。対象者と関連する人々や環境などを図式化することで、対象者の複雑な相互関係の全体像を見渡せ、問題点を抽出したり、対策を講じたりするのに有効。

(社会福祉基本用語辞典 川島書店より)

マッピング技法 = マップ（地図）を描くこと

3. マッピング技法②

マッピング技法を活用することの効果

- 言葉で伝えるよりも、分かりやすい。
- マップを使用すると、複雑なことが理解しやすい。
- マップにすることで、次に何をすれば良いかという発想が浮かびやすくなる。
- 忘れていたことを思い出したり、知らなかった事（内容）に気づくことができる。

＜栗田修司著「わかりやすい福祉支援の記録」より＞

3. マッピング技法③

マッピング技法の種類

- ジェノグラム
- エコマップ
- ファミリーマップ



詳細は別紙を
ご参照ください

練習課題



家族の関係性

- 最近、マスオさんとサザエさんの関係が良くない（険悪な関係）。
- ワカメちゃんとカツオくんは、二人とあまり関係を持ちたくない（希薄な関係）。
- それをみかねたフネさんが、サザエさんに干渉する（過干渉）。
- タラオちゃんの心のよりどころは、猫のタマだけである（親密な関係）。

事例検討（グループワーク）



